

文部科学省グローバル人材育成推進事業フォーラム

ここから始まる私の地球

インターローカル人材が拓く未来

グローバル化が進む今日、国境や文化のボーダーの交差するところに課題と可能性の両方が存在しています。私たち一人一人の今、ここから始まる地球への広がりを受け止め、世界と地域をつなぐ人材の育成について考える機会に、ぜひご参加をお待ちしております。



“Intercultural Exchange for Mutual Trust: Practical examples from my experiences”

(信頼にもとづく国際文化交流) 私の実践活動から言えること

講師: セリグマン・アダム博士

プロフィール

米国ボストン大学教授(宗教学)。同大学文化・宗教・世界情勢研究所研究員。米国内の他大学や、フルブライトフェローとしてイスラエルとハンガリーでも教鞭をとる。イスラエルに20年近く居住。1970年代初頭には、ケレム・シャロムにあるキブツ(集産主義的協同組合)の一員として貢献。数多くの著書があり、十数か国の言語に翻訳して出版されている。さらに、宗教と公共社会に関する国際的なサマースクールのダイレクターとして、毎年世界中の様々な課題に関してセミナーを実施。

主な著書: 単著はThe Idea of Civil Society (1992); Inner-worldly Individualism (1994); The Problem of Trust (1997); Modernity's Wager: Authority, the Self and Transcendence (2000) 他。

共著はModest Claims, Dialogues and Essays on Tolerance and Tradition (2004); Ritual and its Consequences: An Essay on the Limits of Sincerity (2008); Rethink Pluralism; Ritual, Experience and Ambiguity (2012) 他。

山口県立大学



グローバル人材育成推進事業



シンポジウム

基調講演 15:00-16:00

〈演題〉

“Intercultural Exchange for Mutual Trust: Practical examples from my experiences”

〈講演者〉

セリグマン・アダム博士(ボストン大学教授)

使用言語: 英語(同時通訳有)

パネルディスカッション 16:10-17:30

〈テーマ〉

「ここから始まる私の地球ー
インターローカル人材が拓く未来」

〈パネラー〉

セリグマン・アダム(ボストン大学教授)

安溪 遊地

(山口県立大学国際文化学部教授)

安田 震一

(多摩大学グローバルスタディーズ学部教授)

シャルコフ・ロバート

(山口県立大学グローバル人材育成推進事業総括)

司会: 斉藤 理

(山口県立大学国際文化学部准教授)

〈概要〉

セリグマン氏の基調講演を受け、日本における川喜田二郎の移動大学や、山口県出身の民俗学者宮本常一のフィールドワークの思想を受けた安溪遊地が、日本における若者交流・多世代交流・市民との対話の思想を生み出してきた場について報告を行います。その後、基調講演者やパネラーを交えて、これからの人と人との相互理解の機会創出と国際文化学の使命について議論します。

使用言語: 日本語(同時通訳有)

事前お申込み先

TEL・FAX・MAIL

083-928-5410

global@yamaguchi-pu.ac.jp

7/5 土

15:00~17:30

会場: 山口県立大学講堂(桜園会館)

参加無料

(事前申込制: 6/30(月)まで)

後援: 山口県、山口市、山口県教育委員会、公益財団法人山口県国際交流協会、朝日新聞社、中国新聞防長本社、毎日新聞社、山口新聞社、読売新聞西部本社

※本セミナーは、文部科学省「グローバル人材育成推進事業」の趣旨に基づいて実施いたします。



公立大学法人

山口県立大学

Yamaguchi Prefectural University